

**ATP**

助成：公益信託高橋信三記念放送文化振興基金



## グランプリ & 優秀賞

# 卒業RECORD #ソツレコ

製作会社:MBS企画 放送局:毎日放送

|             |               |           |              |
|-------------|---------------|-----------|--------------|
| チーフ・プロデューサー | 八木 航平(毎日放送)   | 総合演出      | 松本 武史(MBS企画) |
| プロデューサー     | 中村 和宏(MBS企画)  | チーフディレクター | 阿部 淳人(MBS企画) |
|             | 谷口 美希子(MBS企画) |           | 安田 周平(MBS企画) |



### 番組概要

コロナ禍における2020年。部活に青春を捧げてきた高校生たちをそのまま卒業させて良いのだろうか？そんな想いから始まった、競技の枠を超えた高校3年生なら誰でも参加できる日本一決定戦。



※敬称略。

### 受賞者コメント

イベント・生配信とも連動し、多くの方に支えられた番組でした。「ソツレコ」というお祭りを通して、コロナ禍で悔しい思いをした高校3年生たちの気持ちを昇華するお手伝いできたのではないかと思います。MBSのスポーツ局、営業局をはじめとした関係各所の皆様、出演者の皆様、そして何より参加してくれた高校3年生の皆様に心から感謝申し上げます。

MBS企画 チーフディレクター 阿部 淳人



### 審査講評

コロナ禍の今だからこそこの企画、それだけに実現するのには相当な苦労が伴ったと思われます。同じ“走る”でもさまざまな思いで挑む高校生たちの思いを丁寧に汲み取り、寄り添う制作者の姿勢が滲み出ていました。

### グランプリ投票参加会社から

「コロナ禍でいろんな場面で自粛を強いられた高校3年生にスポットを当て、その思いをスポーツで表現し、その思いの奥深くを追った点がよかった。また、その競技・種目以外の生徒がエントリーできる所も、企画意図にあった演出でおもしろかった。」

「完全燃焼できないまま卒業しようとしている高校生の部活に寄せた企画はコロナ禍ではよくある企画ではあるが、一部の高校生を対象にしているとはいえ、かまいたちをMCにこのような企画や考え方を広める一助になればテレビの役割を果たしたといえる。ただの思い出作りに留まらず子供たちの真剣にまた楽しそうに取り組む姿勢も最後まで応援しながら視聴することが出来た。」

「どの作品も甲乙付け難い作品ばかりですが…コロナ禍の真っ最中、多くのスポーツが自粛する中で、若者たちのスポーツに対する情熱が伝えられていたと思います。コロナ禍の中でもスポーツを支える人々、スポーツを通して繋がる友情など様々なエピソード満載で心に残る作品だと思いました。」

### グランプリ投票参加校から

「参加者の方それぞれに思いがある中、競技の枠を超えて誰でも参加できるという取り組みは凄く面白かったです。参加者の方々の仲間や家族への感謝などが凄く伝わってきたことや、これまでに取り組んできたことへの強い思いを凄く感じました。」

「僅差での選考結果です。コロナ禍で心残りのある高校生たちに活躍機会を与える企画が素晴らしかった。生き生きとした表情と楽しさが画面一杯に伝わってきた。」

「陸上に限らず、思うように活動できなかった学生はたくさんいます。コロナ禍で活動ができなくなった中で何かできないかともがき、意地を見せ、ベストを目指して己と戦う姿に感動しました。たくさんの方が勇気をもらえる、そんな番組だと思います。」



## 最優秀新人賞

重谷 綾梨(ytv Nextry)

最後に手紙を書いたのはいつですか？

放送局：読売テレビ

プロデューサー 山崎 舞子(ytv Nextry) ディレクター 重谷 綾梨(ytv Nextry)



### 番組概要

SNSの普及で、ほとんど書く機会がなくなった『直筆の手紙』に今、あえてこだわり、きっかけや勇気がなくて伝えられなかった『想い』を「ボタン一つではない形」で伝えるドキュメントバラエティ。



### 受賞者コメント

初めてディレクターとして挑んだこの番組は、入社2年目で書いた企画をytvの34歳以下の企画募集で通して頂き、実現しました。人と人を繋ぐツールがボタン一つでできる。便利になった反面、人を傷つける事も容易になった。そんな世の中を悲しく思い「誰も傷つけない温かい番組を作りたい」と思った事がきっかけでした。企画を形にするのは本当に大変でしたが、一生忘れる事のないような番組で評価を頂いた事を嬉しく思います。

ytv Nextry ディレクター 重谷 綾梨



### 審査講評

コミュニケーションツールがデジタル化する昨今、手紙で人の心が動かされることを実感しました。ネタもキャスティングも秀逸。ディレクターが取材相手との強い信頼感を育んで制作に臨んでいることがうかがえました。

### 最優秀新人賞投票参加会社から

「構成や演出はまだ粗いところがあるが、コロナ禍でデジタル時代にあえてアナログのよさを訴求する、企画者の思いが伝わった。」  
 「心無い書き込みメールが横行する今の世の中で手紙の素晴らしさを改めて思い起こさせる番組でした。題材も結婚・就職・死別をテーマに、恋人、親子の人間関係も上手く表現されて見終わった後に『大切な人に手紙を書こうかなあ…』と思わせる作品でした。」  
 「感動した。思わず誰かに手紙を書きたくなる。そんな優しい気持ちになれる番組。取材対象者にしっかりと寄り添い、やさしさであふれている。ディレクターのやさしさで、取材対象者の心のありようが表現できており、ベテランDでも中々難しい事をやってのけた。素晴らしい。」  
 「ありがちなテーマですが、取材対象を吟味したうえで、不必要に煽ることなく真摯に向き合う姿勢に好感が持てました。東京発の番組だと興味本位に煽情的に描きがちなのを丁寧に時間をかけて作り込んだところは、さすが関西だと思います。」  
 「インターネットが普及し、手軽にメールやLINEなどで連絡を取れるようになり、手紙を書く機会が減ったなか、この番組を通して、改めて手紙の良さを感じることができました。心の中にある想いを、なかなか口に出して伝える事ができないけど、手紙だからこそ、その想いを言葉にして伝える力がある。手紙の数だけドラマがあり、手紙の力を強く感じた素晴らしい番組だと思います。コロナ禍で遠出ができず、家族や友人に会えない方も多いと思いますが、そんな時だからこそ、手紙を書いてみようと思うきっかけにもなる、今の時代に最適な番組だと思います。」  
 「どの作品も新人さんが作ったとは思えない程、クオリティーが高くて驚いた。ひとりを選ぶのは難しかったが、企画者として番組をゼロからつくり上げたという点を鑑みて重谷さんに票を投じた。」  
 「今の(こんな)時代だからこそ、『手紙』のような企画だと思いました。純粋に人の心に刺さる企画だと思います。リサーチ力、企画力、演出力を評価したいと思います。」

※敬称略。



番組部門の応募作品の中から優れた番組に対して贈られる賞



※敬称略。 ※受賞作品の掲載はエントリー順となっています。

## オレの寿司物語

製作会社:ブリッジ  
放送局:テレビ大阪  
プロデューサー 徳岡 敦朗(テレビ大阪) 監督 辻本 賀一(ブリッジ)



和田正人、田中要次、真飛聖、春海四方、木本武宏が、大阪の下町にある摩訶不思議な寿司屋「真心♡寿司」を舞台に、軽快な会話劇を交えて郷土寿司のおいしさと人情を描くドラマバラエティ。

----- 【 審査講評 】 -----

ドラマとグルメを融合させた巧みな構成で、違和感なく各地の名物が楽しめました。「スシロー」の扱いも嫌味なく秀逸。何より寿司が食べたくくなりました。

### 受賞者コメント

この度はコロナ禍にも関わらず思い出に残る受賞式を開催いただきありがとうございます。グランプリには手が届きませんでしたが、再びキャスト、スタッフが丸となり同じ舞台上になれるよう精進します。

ブリッジ 監督 辻本 賀一



## ニッポンのレジェンド発掘SP さいしょの人はスゴかった!!

製作会社:ytv Nextry 放送局:読売テレビ

プロデューサー 小林 計洋(ytv Nextry)  
ディレクター 村井 ゆみ(ytv Nextry)  
瀬戸 優(ytv Nextry)  
平野 玲二(ytv Nextry)

世の中にある“当たり前”をさいしょにつくった知られざる偉人たちに注目!はじめて〇〇した人を『レジェンドさん』として取り上げ、その偉業・功績にスポットをあて、レガシーに学んでいく知的エンタテインメント。

----- 【 審査講評 】 -----

自分の思いに素直に取り組むことが、多くの人に役立つ発明につながるということが強く伝わりました。再現ドラマが効果的に使われ、ミニコーナーの入れ方などが巧みに構成された秀作です。

### 受賞者コメント

世の中の当たり前になっていて感謝する事も忘れていたモノの「さいしょ」を辿ってその功労者を讃えようと始めたこの番組。深掘りしていくとそこには先人たちの強い想いがありました。その熱量を伝えなければいけないと丁寧取材し、再現ドラマのクオリティにこだわりました。コロナ禍の中、取材に協力して頂いた皆様に心から感謝いたします。今回の受賞を励みにスタッフ一同、真摯に番組制作に向き合っていきたいと思ひます。

ytv Nextry ディレクター 平野 玲二



## 関西おせっかいハウス ほっとけないのよアンタのことが

製作会社:ytv Nextry  
放送局:NHK大阪放送局

プロデューサー 小林 計洋(ytv Nextry)  
ディレクター 村井 ゆみ(ytv Nextry)  
松本 圭介(ytv Nextry)

“おせっかい”が、関西を救う!関西人よ!おせっかいであれ!おせっかいなドラッグクイーン軍団が「社会問題とまではいかない、巷の人たちの悩みや問題」を聞きつけて、解決に乗り出すドキュメントバラエティ。

----- 【 審査講評 】 -----

クリーニング店の引き取りにこない衣服に着眼し、そこに込められたドラマを丹念に取材し構築した秀作です。まだまだ未開拓の番組があるのではと今後の大きな可能性を感じました。

### 受賞者コメント

関西人のおせっかい魂を、人間関係が希薄になりがちな現代に蘇らせたい一心で企画!お悩み相談の達人ドラッグクイーンの3人に寄り添って頂くことで、人が人を想う姿が愛おしい番組が出来ました。番組制作沼に沈む中、知恵を授けてくれたプロデューサーや、何とかなんと励まして下さったネクストライの先輩方がいて下さったからこそ、突き進むことができました。今回の受賞をパワーに新たな番組作りへ!ひた走ります!

ytv Nextry ディレクター 村井 ゆみ



## 魚が食べたい! ～地魚探して3000港～

製作会社:エー・ビー・シー リブラ  
放送局:BS朝日

プロデューサー 大幸 雅弘(BS朝日) ディレクター 大濱 雅子(エー・ビー・シー リブラ)  
奈良井 正巳(エー・ビー・シー リブラ)

日本全国に約3000ある港を、お魚大好きディレクターが突撃訪問!“地元でしか食べられない美味しい地魚”を食べ歩くドキュメントバラエティ。

----- 【 審査講評 】 -----

魚を様々な角度から捉え、飽きることなく展開しました。ディレクターの魚に対する幅広い引き出しと現場で起きたことに瞬時に対応していく力量を感じました。その背景には綿密に事前取材されていることがうかがえました。

### 受賞者コメント

「魚が食べたくて…」と、突然声を掛けたにも関わらず親切に接して下さった下津井漁港の皆さんのおかげで栄誉ある賞をいただきました。その土地の魚の美味しさはもちろん、人の温かさをこれからも伝えていきたいです。

エー・ビー・シー リブラ ディレクター 大濱 雅子



## 絶滅料理よいざ復活! ロストグルメ2

製作会社:レジスタエックスワン  
放送局:CBCテレビ/TBS系全国ネット

プロデューサー 折原 詩乃(CBCテレビ) 演出 古田 隆文(レジスタエックスワン)

過去に偉人たちに愛されたにも関わらず、様々な理由によって現代では消滅してしまった「今はなき絶滅料理」を【ロストグルメ】と称し、一流シェフが残された文献と、自らの腕を頼りに蘇らせるグルメバラエティ。

----- 【 審査講評 】 -----

絶滅料理を蘇らせるという独特の設定。消えたメニューそれぞれに時代背景を味わえました。特に“昭和グルメ”はやられた!という感じ。ネタの良さに加えて巧みな再現や細やかなリサーチを緻密に構成した秀作です。

### 受賞者コメント

この度は優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございました。光栄に思うと同時に、「チームワーク」の大切さを改めて実感しております。今後もチーム一丸となって全力で番組作りに努めていきます!

レジスタエックスワン 演出 古田 隆文





関西で活躍する若手制作マンの作品を対象に、その個人に贈られる賞。



※敬称略。 ※受賞作品の掲載はエントリー順となっています。



## 小林 陽平(ダイズ)

### やすともの#惜しコン 世の中のちょっと惜しいをコンサルティング

放送局:読売テレビ

プロデューサー 多賀 規恵(読売テレビ) チーフディレクター 小林 陽平(ダイズ)  
千葉 愛(ダイズ)

世の中には商品やサービスなどはとてもいいのに、“ちょっと惜しい”というモノが溢れている。どうすれば売れる？話題になる？悩める企業を救うべく、海原やすと ともこや個性派メンバーがアイデアをぶつけ、企業側が形に！『ちょっと惜しい』を『コンサルティング』する、新感覚バラエティ。

----- 【 審査講評 】 -----

身近な“惜しいポイント”を的確に捉え、共感できる構成でした。ボードを使った早送りの解説映像がテロップやナレーションよりわかりやすく斬新さを感じました。チャレンジ精神あふれる秀作です。

#### 受賞者コメント

入賞登壇の際「受賞の喜びは後ほど」と言ったが、その機会はずいぶんなかった。他者の評価が欲しくて制作はしていないが、入賞と聞いて不覚にも心が躍った。こんな未熟な私を寛容に放映してくれる大人たちに感謝。。。

ダイズ チーフディレクター  
小林 陽平



## 三谷 俊仁(メディアプルポ)

### よ〜いドン! ツウなら知っておきたい!〜ロザンのうんちくん〜

放送局:関西テレビ

プロデューサー 藤本 竜平(関西テレビ) ディレクター 三谷 俊仁(メディアプルポ)

日本を代表するインテリ芸人・ロザンが誰もが知っている有名スポットや観光地・企業を訪れ、その場所にまつわる“うんちクイズ”に挑戦!“うんちクイズ”を通じて、知られざる一面を掘り下げます!!

----- 【 審査講評 】 -----

有名な中華料理店を扱う中で、さらなるうんちくを見出され新鮮な話題でした。少ないシーンの中で見応えのある演出がなされ入念な準備とメリハリつけた現場の様子がうかがえました。何より肉まん食べたかった!

#### 受賞者コメント

この度は新人賞をいただけて大変うれしく思います。これを励みにさらに面白い番組作りを目指していこうと思います! 関西テレビ「よ〜いドン!」で毎週水曜日に放送しております!是非みてみてください!

メディアプルポ ディレクター  
三谷 俊仁



## 大迫 浩幹(エー・ビー・シー リブラ)

### 今ちゃんの「実は…」 「パパが娘に確かめたい両思い検定をしたら実は…」

放送局:朝日放送テレビ

プロデューサー 吉村 鉄平(エー・ビー・シー リブラ) ディレクター 大迫 浩幹(エー・ビー・シー リブラ)

ABC今ちゃんの『実は…』の人気コーナー「両思い検定」。“パパの事をどれだけ娘が知っているか?”を確かめるため父から娘へ抜き打ちパパクイズを出題。藤岡弘、さん親子の絆で感動の涙と笑いに包まれた。

----- 【 審査講評 】 -----

藤岡弘、さんの嬉しい気持ちが出た表情が印象的でした。その表情を引き出したクイズの選び方が秀逸。短いやりとりの中で親子の絆の深さが現れていました。ディレクターの取材力を感じるジャンゴ!な番組でした。

#### 受賞者コメント

藤岡弘、さんの連発仰天顔、最後の娘さんの涙、出会いの際の藤岡さんのアドリブ殺陣、冒頭のせいやさんの“おでこ”、どれが欠けても賞は頂けなかったと思います。関係者各位の皆様、本当に有難うございました。

エー・ビー・シー リブラ ディレクター  
大迫 浩幹



## 坪井 雄太郎(東通企画)

### 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」解説映像

配信:YouTube 藤井寺公式チャンネル「フジイデラテレビ」

プロデューサー 石原 朋子(東通企画) 制作ディレクター 坪井 雄太郎(東通企画)

藤井寺市の小中学校で使用する歴史の副教材として、また古墳に興味のある外国人観光客に向けてYouTube等で発信するために製作した作品です。古墳のことをわかりやすく、楽しく勉強できるよう工夫を凝らしました。

----- 【 審査講評 】 -----

番組にしっかり向き合うディレクターの姿勢が強く感じられました。綿密な取材、練り上げられた構成でナレーションとMCの使い分けもきっちりされて、見やすい仕上がりでした。YouTube配信に業界の可能性を感じました。

#### 受賞者コメント

配信番組も評価していただき嬉しいです。世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の歴史など魅力をギュッと詰め込みました。難しく思うかもしれませんが、知らない、勉強になることだらけなので是非見てほしいです!

東通企画 制作ディレクター  
坪井 雄太郎



# 第9回 受賞式

2022.1.25

2022年は、コロナウイルス感染拡大の影響も考慮しつつ、会場とオンライン、両方のハイブリッド形式で、受賞式を行いました。



審査委員の橘庸介より賞状を授与。

## 新人賞



5名が新人賞受賞！

この5名から最優秀新人賞に輝いたのは・・・



森田道明(関西センター長)が発表。

## 最優秀新人賞



投票によって選ばれたのは、**重谷 綾梨さん(ytv Nextry)**



審査委員長の河野純基より賞状を授与。

## 優秀賞



6作品が優秀賞受賞！

この6作品からグランプリに輝いたのは・・・



長谷川豊(ATP副理事長)が発表。

## グランプリ



投票によって選ばれたのは、「**卒業RECORD #ソツレコ**」



審査委員長の挨拶で閉幕。

受賞者の皆さま、おめでとうございます！

# 第9回 ATP上方番組大賞 総 評

第9回ATP上方番組大賞、今回は38の番組がエントリーされました。ご参加頂いた製作会社の皆さま、審査にご協力頂いた大学、専門学校、学生の皆さまに御礼申し上げます。今回はエントリーされた全ての番組がコロナの対策や制約の中で制作されたものでした。そんな状況にも関わらずどの番組も活気があり、こんな時節だからこそいっちょやってみようか！という気概に満ちていました。

新人賞ですが、今回は例年になく長尺の番組が多くエントリーされました。若いディレクターの皆さんが、それぞれの現場で大きな番組を任されている様子がうかがえました。グランプリは票が割れ大接戦となりました。最終的に学生の票を多く獲得した「卒業RECORD #ソツレコ」が1票差でグランプリに決定しました。

こんなやり方もあったんだ！と発見することも度々。今年もお互いに刺激し合いながら心に残る番組を制作していけたらと思います。今回の受賞、誠におめでとうございます。

第9回ATP上方番組大賞 審査委員長  
河野 純基

## ■審査委員 (五十音順)

審査委員長  
河野 純基(ダイメディア 代表取締役)ATP理事 関西センター

審査委員  
飯田 真麻(ジェイワークス プロデューサー)  
岡崎 雅哉(東通企画 執行役員 大阪制作センター長)  
橘 庸介(レジスタエックスワン 常務取締役)  
村上 清身(羽衣国際大学 現代社会学部 放送・メディア映像学科教授)

## ■審査講評執筆

優秀賞: 河野 純基  
新人賞: 橘 庸介

## ■グランプリ・最優秀新人賞投票

ATP関西会員社

## ■グランプリ投票校一覧

|        |                  |              |                 |
|--------|------------------|--------------|-----------------|
| 大阪芸術大学 | 松澤 真木 教授 学生の皆さま  | 神戸市外国語大学     | 山本 昭宏 教授 学生の皆さま |
| 関西大学   | 里見 繁 教授 学生の皆さま   | 奈良女子大学       | 内田 忠賢 教授 学生の皆さま |
| 近畿大学   | 杉浦 徹 教授 学生の皆さま   | 大阪市立大学       | 石田 佐恵子 教授       |
| 羽衣国際大学 | 村上 清身 教授 学生の皆さま  | 甲南大学         | 西村 順二 教授 学生の皆さま |
| 立命館大学  | 竹村 朋子 教授 学生の皆さま  | ビジュアルアーツ専門学校 | 放送・映画学科の皆さま     |
| 和歌山大学  | 尾久土 正己 教授 学生の皆さま |              |                 |

## ■司会進行

脇屋 香名子(パートナーズ・プロ)